

令和元年度 明石市議会文教厚生常任委員会 議会報告会実施報告書

| | | |
|---------------|---|---|
| 開催日時 | 令和2年1月25日(土)午後6時～午後7時30分 | |
| 開催場所 | あかし保健所201会議室 | |
| 出席議員 | 委員長 | 国出拓志 |
| | 司会者 | 吉田秀夫 |
| | 記録者 | 飯田伸子 |
| | その他 | 千住啓介、三好宏、灰野修平、森勝子(以上、文教厚生常任委員) 尾倉あき子、林健太(以上、議会活性化推進委員) |
| 参加人数 | 明石市歯科医師会 8名 | |
| 報告内容 | <p>○議会報告 明石市議会における歯と口腔の健康推進にかかる審議経過について(三好、灰野委員)</p> <p>○明石市歯科医師会からの歯科診療の現状報告 休日及び障害者等歯科診療の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療日数が少ないため患者が累積し、新患予約が3か月待ちの状態。 ・交通の便が悪く駐車場も少ないため、高齢者や障害者が利用しづらい。 ・常勤医がない。 ・全身麻酔が必要な治療時は市外の病院に紹介している。 ・口腔外科のある県立がんセンターはがん治療に特化しており、障害者の受け入れがない。 <p>ユニバーサル歯科診療所のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先に述べた現状での問題点がすべて解決できる。 ・明石市民病院の敷地内にあるため、後方支援が受けられる。 ・周術期、訪問診療にも対応できる。 ・交通の便がよくなるため、神戸市西区など近隣自治体からの患者も受け入れ可能となり、経営が安定する。 ・常勤医2名体制で年中無休診療することにより、取りこぼしなく市民が歯科診療を受けられる。 ・障害者歯科診療所は全国初であり、大変注目されている。 | |
| 主な意見・提言・要望と応答 | <p>○意見交換</p> <p>①あかしユニバーサル歯科診療所への期待</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師会：口腔外科分野の対応や全身麻酔による診療ができるため、一気に治療が進み患者の負担が軽減される。 訪問歯科診療の拠点となっていくことが期待できる。 有病者の治療も対応できるようになる。 開業医として、高度な治療を必要とする患者の受け入れが市内で可能になることに期待する。 日本初の施設なので、いいものを作っていきたい。 休日診療もさらに充実していける。 長年にわたって描いてきた、障害者が安心して治療できる歯科診療所がやっと現実となることに、大きな感慨を感じる。 ・千住委員：予算的には審議したつもりだが、実際この体制で大丈夫か。 ・歯科医師会：摂食嚥下の評価や対応など専門性のある医師がいればいいのかと思う | |

| | |
|--|--|
| | <p>が、とりあえずやってみて、必要であれば要請したい。 常勤の歯科衛生士が2名の予定だが、多様な分野で医療連携することを考慮するともう少し増やしてもいいのかなと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灰野委員：市民病院が建てかえとなった時にも、病院内に施設を移すなどして変わらず連携して欲しい。 <p>歯科医師会：変わらず連携していく。市民病院の入院患者の口腔内環境（特に胃瘻造設者）にも介入し、情報を全国に発信できたらと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森委員：訪問診療の発展に期待したい。口腔外科分野にも期待する。 歯科医師会：常勤の歯科医師は歯科麻酔指導医であり、がんセンターと連携して口腔外科にも対応していく。 歯科医師会には訪問歯科委員会があるので既に訪問診療のシステムは出来上がっているが、状況によっては設備の整った診療所に来院していただく方が多い場合も多い。 ・飯田委員：発達障害児の保護者より、大変大きな期待の声が寄せられている。また、入院患者の口腔環境改善の第一歩となることも期待したい。 全身麻酔には副作用もあるが、全身麻酔にする見極めはどのようにするのか。 歯科医師会：全身麻酔は安全な治療で、歯科の場合ほとんどが日帰りできる。実施の判断は担当医師に委ねる。口腔内環境は、障害者本人よりも施設の職員や保護者の指導に力を入れている。 ・三好委員：いつでも誰でも受診できるためにはまだ改善の余地があると思うので、今後も要望にはしっかり対応したい。 <p>②本市の歯と口腔の健康推進のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師会：「最近の国の歯科医療政策の方向性」の資料に基づいて説明。 国は財政面に注目して歯科に関わる施策を決定している。口腔内の健康を守ることは、国民の健康を守ることにつながり、医療費を削減できる。 今後、市長や議会の構成が変わっても、口腔保健に関する施策が変わることがないようにして欲しい。そのためには根拠となる条例が必要だと考える。そして、そこに定める市民の健康を提供するため、口腔保健支援センターの設置を希望する。 |
|--|--|

明石市議会議長 様

令和2年1月29日

上記のとおり報告します。

文教厚生常任委員長 国出拓志